

2015 年度 第 1 回 鋼構造制振小委員会 議事録

1. 日時 平成 27 年 4 月 24 日(金) 14 時 00 分～17 時 00 分
2. 場所 建築会館
3. 出席者 緑川光正, 笠井和彦, 金子洋文, 木村祥裕, 聲高裕治, 田中 清, 玉井宏章, 中込忠男, 引野 剛, 松岡祐一, 山西央朗(敬称略), 宇佐美徹(記録)
欠席:石井正人, 加村久哉, 山下哲郎(敬称略)
4. 配付資料
- 01-01 2014 年度 第 4 回 鋼構造制振小委員会 議事録(案)(宇佐美)
 - 01-02 正誤表, 1 章, 4~6 章, 付 3(各担当委員)
 - 01-03 普通鋼せん断パネルダンパーの変形性能について(玉井委員)
 - 01-04 繰返し力を受ける SM490 鋼の疲労性に関する研究(中込委員)
 - 01-05 極低降伏点鋼の 2 段多重振幅における累積疲労損傷に関する実験的研究(中込委員)
 - 01-06 鋼素材の 2 段多重振幅における線形累積疲労損傷則の精度に関する研究(中込委員)
 - 01-07 鋼モルタル板を用いた座屈拘束ブレースの実験的研究(緑川主査)

5. 議事内容

- (1) 資料 01-01 に基づき前回議事録の確認がなされた。
- (2) 資料 01-02 に基づき, 各担当委員より正誤表について報告があった。各章のコメントは以下の通り。

章	担当	コメント
1	緑川主査	<ul style="list-style-type: none"> ・ 5)の“低減”は“軽減”に変更する。 ・ 6)は参考文献番号の位置を変更する。 ・ HP の正誤表には 4)のみを掲載する。
4	玉井委員 田中委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ p.86 の図の説明は笠井委員より玉井委員へ連絡のこと。 ・ 次回, 一覧表にまとめて提示する。
5	木村委員 引野委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ p.125 下から 10 行目の目標層間変形角の 1.5 倍の層間変形角時に関する記述が、p115 上から 17 行目の内容と整合するか確認する。 ・ 次回, 一覧表にまとめて提示する。
6	金子委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 次回, 一覧表にまとめて提示する。
付 5	笠井委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ D_fの値が小さいので玉井委員と確認する。 ・ 次回, 一覧表にまとめて提示する。

- ・ 2-3 章, 7-8 章, 付録は次回までに正誤表を作成し提出のこと。

- ・ 次回分までで HP 上に掲載する正誤表は取りまとめることとする.
- (3) 資料 01-03 に基づき, 玉井委員より普通鋼せん断パネルを対象にした等価せん断座屈変形角予測式の適用限界に関する研究の紹介がなされた.
- (4) 資料 01-04~01-06 に基づき, 中込委員より砂時計型の試験片による 2 段多重振幅を受ける鋼材の疲労損傷則に関する研究について紹介がなされた.
- ・ 高強度鋼材ほど D 値が低下する傾向にある.
 - ・ 荷重制御による実験では疲労性能が向上することになる.
 - ・ 風外力と地震外力を独立して評価できないか. (笠井委員)
 - ・ 5 年後の改定時に盛り込めるようにまとめていきたい. (中込委員)
- (5) 資料 01-07 に基づき, 緑川主査より鋼モルタル板を用いた座屈拘束ブレースの摩擦力分布を考慮した圧縮引張耐力比の算定手法の紹介がなされた.

6. その他

- ・ 設計指針は 2015.04.24 現在 960 部(1500 部発刊)販売した.
- ・ 次回小委員会:2015 年 7 月 10 日(金)14:00 より建築会館で実施